**｜令和3年度 版画学会 定期総会 議事録｜**

日時 令和３年 12月12日（日）10：00〜12：00

ZOOMによる遠隔会議(ホスト：愛知県立芸術大学)

議長：会長 倉地比沙支（愛知県立芸術大学）

議事進行：事務局長 井出創太郎（愛知県立芸術大学）

出席登録者（※1）66名、委任状177名で合計243名となり、会員総数385名（12月現在）の過半数を超え総会は成立した。

（※1）定期総会出席のご連絡を頂きながら、事務局がZoomのURLを送信せず、出席ができなかった会員の方がいることを定期総会後に把握しました。これは事務局の失態によるものです。大変、申し訳ありません。

今後このような事態をおこさないよう、送信に関して改善してまいります。

総会成立に関する記載として「出席者」とすべき項目ですが「出席登録者」としました。

なお、出席者数＋委任状数で定期総会は成立しております。

また、「定期総会に出席できなかった会員の皆様への対応及び報告」を補足事項として記載致しました。ご参照ください。

定期総会に出席できなかった会員の皆様には、深くお詫び申し上げます。

1. **会長挨拶**（倉地比紗支会長）

倉地会長より挨拶がなされた。今年度は改革の提案、展覧会実施を上田に変更して行なっており、変更に伴い会員からご協力いただいたことへの感謝の意を示した。さらに、版画の発展を願い円滑に事業を進めていくため引き続き会員に尽力を求めた。

**2. 学会事務局**（愛知県立芸術大学）

**2-1** **【審議事項】会員の動向**

・新入、退会、移動の提案を承認。

入会希望8名、所属先変更2名、退会6名、除籍0名

**2-2 【審議事項】令和４年度予算案について**

・令和4年度予算案を承認。

前年度繰越金2,504,437円。次年度繰越金2,289,437円。名簿管理と会費管理を業者委託する予算として事務費の項目に「委託費」（200,000円）を計上。デジタルアーカイブ事業（215,000円）。展覧会費（全国大学版画展実行委員会への共同出資金）500,000円（R3年度と同額）。版画学会誌編集部門475,000円。

●出された意見及び回答

(会員)大学版画展の収支の報告を知りたい。事務局から支出する50万円の使い道を確認したい。

回答→（事務局）令和３年度収支報告として令和4年度夏季総会で報告する。(会長)　現在合同の展覧会運営費（215万円：学会500,000、上田市1,650,000　事務局加筆）で展覧会を運営している。決済は上田の美術館（全国大学版画展実行委員会）から提出される。

**2-3 【審議事項】役員・専門委員会委員について**

・展覧会事務局、学生作品販売部門の担当校を承認。事務局・学会誌編集・アーカイブ事業・WEBサイト運営は継続を承認。

展覧会事務局（東京造形大学）、学生作品販売部門（筑波大学）

**3． 展覧会実行委員会（女子美術大学）**

**3-1**【**報告**】**第46回全国大学版画展**

・展覧会概要、行事内容の変更、賞、公開講座・ワークショップ、プレゼント版画作品寄贈作家、特別展示「アートブック」を確認。

□概要

2021年12月4日（土）〜 12月19日（日）　※火曜日休館 14日間

参加校：40校（昨年43校・一昨年 47校）

出品作品数：175 点（昨年98点・一昨年225点）

（展覧会事務局）今年度は参加校が減っており出品数175点(一昨年の78%)となった。

出品辞退校：北海度教育大学岩見沢校、兵庫教育大学

出品数変更：宮城教育大学・東京藝術大学・東亜大学・倉敷芸術科学大学

□展覧会初日と二日目以降の行事内容の変更

展覧会初日に行っていたレセプションは今年度も中止。

例年初日に行っていた総会は12月12日（日）にオンラインで行う。

優秀賞投票期間：12月 4日（土）〜12月12日（日）

集計：12月14日（火）までに学会事務局・展覧会事務局・美術館学芸員で集計。

授賞式：12月19日（日）13：00〜13：30

受賞者によるギャラリートーク：12月19日（日）13：30〜15：00

□賞

「優秀賞」25点程度（本学会会員による選考）受賞者には賞状及び賞金授与。

「町田市立国際版画美術館賞」10点程度（町田市立国際版画美術館による選考）受賞者には賞状授与。

「上田市立美術館賞」1点（上田市立美術館による選考）受賞者には賞状及び賞金授与。

「観客賞」１点（観覧者による選考）。受賞者の大学に郵送にて賞状及び賞金授与。

□公開講座・ワークショップ

〇公開講座　「いいかげんさ」と「緻密性」が同居する版画表現

講師　倉地比沙支（版画学会会長・愛知県立芸術大学教授）

日時　2021年12月4日（土）13：30〜15：00

会場　上田市立美術館1階　市民アトリエギャラリー

〇ワークショップ　美術家から学ぶ「はがし刷りからの展開」

講師　阿部大介（美術家・女子美術大学准教授）

日時　2021年12月11日（土）・12日（日）13：00〜17：00【全2回】

会場　上田市立美術館1階　市民アトリエギャラリー

□プレゼント版画作品寄贈作家

いしだふみ（大阪芸術大学）／清水博文（京都芸術大学）／高浜利也（武蔵野美術大学）／三井田盛一郎（東京藝術大学）／八木文子（山形大学）

□特別展示「アートブック」の実施

本年度の開催はなし。

（展覧会事務局）今年度は上田市美術館に業務を負担していただいたため展覧会事務局は大幅にスリム化された。プレゼント版画作家選出・額装、DM発送、展示レイアウト、プレゼント版画業務(アンケート集計抽選、ご連絡、発送)、受賞作の写真撮影、陳列を上田市美術館に行なっていただいた。

一方で、搬入開梱を以前の教員学生30名から減らし10名程度で行うことは非常に困難だった。派遣の助手さんは交通費と宿泊費を補助する。東京から上田への移動が低コストのため、派遣元は関東圏の大学が望ましい。

【**審議事項**】**第47回全国大学版画展**

・会期、次期展覧会事務局を承認。展覧会事務局体制、梱包の仕方についての案が提示された。

□会期

2022年11月19日（土）〜12月4日（日）※火曜日休館　14日間（2週間繰り上げ）

上田市立美術館の展覧会のご都合による繰り上げである。2023年以降は例年通りの会期の予定。

□次期展覧会事務

東京造形大学

□展覧会事務局の体制について

展覧会事務局は、搬入日・陳列日等の担当を他大学に委ねることができるようにしてはどうか？

□ 梱包の仕方について

第47回展は梱包の仕方の指示書を作成し、その方法に沿うかたちで梱包をお願いしたい。

（展覧会事務局）私立大学は大学版画展の繁忙期と入試が重なるため、展覧会事務局は多数の大学で協力し合うようにしていきたい。効率的な開梱を行うために指示書を制作し共有したい。2023年度は、例年通りの会期（12月第1土曜日スタート）の予定である。

●出された意見

（会長）来年度は会期が早くなるため、出品目録提出が10月の半ばか初旬になる。各大学でご準備いただきたい。

※その他１件ご意見を頂いております。補足事項を参照ください（事務局）。

**3-2　【報告】R3学生作品販売報告**

（展覧会事務局）出品作品は愛知県立芸術大学と女子美術大学で236点となった。搬入トラックと同時にミュージアムショップに搬入し従来通りのナンバリング方法、価格も従来同様の3000円(内訳：学生50%学会30%ショップ20%)、各大学に請求書を制作いただきショップが振り込みという形で行う。また、ミュージアムショップは広くないため、出品数の増える来年度はどのようなスペースで行うか検討が必要。

**【審議事項】R4学生作品販売について**

・実施と担当校を承認。

R4年度は実施。担当校：筑波大学

●出された意見

R4年度学生作品販売を実施する予算は、５０万円（展覧会費）の中に含まれているのか。

（回答）→(事務局)今後検討する。

**4.学術研究委員会**

**4-1版画学会誌編集部門**（遠藤竜太編集長）

**【報告】50号報告**

・登録者数、スケジュールを確認。

＜登録者数＞　特集「プリント・イノベーション」4名/制作報告10名/論文2名/研究報告3名/トピックス4名

＜スケジュール＞2021年11月1日　論文、研究報告、トピックス　原稿締め切り／2021年12月18日　特集、制作報告　原稿締め切り／2021年11月1日〜　査読／校正／デザイン／2022年3月1日　2020年度学会誌(Web)発行

**【審議事項】51号計画**

**・**予算案、次年度編集委員会体制を承認（※補足事項を参照ください）。

＜予算案＞

印刷費（A4／100P／50部／オンデマンド）：100,000円／デザイン料（3000円／1P×ページ数＋諸経費＋レイアウト見本）：350,000円／雑費（オンラインストレージ追加など）：5,000円／外部査読謝礼： 20,000円（10,000円／1件×2件）

合計：475,000円

＜次年度編集委員会体制＞編集委員長 ：遠藤竜太（武蔵野美術大学）全体ディレクション 、企画編集

編集委員会担当校 ：京都市立芸術大学（代表：吉岡俊直）／寄稿募集、原稿管理、デザイン、印刷などの実務

編集委員 ／各地域ブロックにおける寄稿者への依頼、原稿管理、校正など

・北海道・東北ブロック: 結城泰介（東北芸術工科大学）・関東ブロック：笹井 祐子（日本大学）古谷博子（多摩美術大学）・中部ブロック：片山浩 （名古屋芸術大学）・関西ブロック：田中栄子（京都市立芸術大学）・中国・四国ブロック : 平木美鶴（徳島大学）・九州・沖縄ブロック : 加藤恵（九州産業大学）

（編集長）今年度から学会誌の印刷は50部のみとし、配布先は事務局で検討。WEBでの公開を中心とする。次年度の編集体制は今年度と同様である。

**4-2 特別企画研究部門 デジタルアーカイブ化事業** （事務局）

**【報告】****Ｒ3アーカイブ事業進捗状況報告**

（事務局）今年度は、蜂谷先生（常葉大学）によるデータ入力がおこなわれた。

**【審議事項】R4年度アーカイブ事業計画**

・予算案を承認。

＜予算案＞

レンタルサーバー代金15,000　/データ入力費200,000（時給1,000×200時間）

合計215,000円

（事務局）来年度はデータ入力について人件費及レンタルサーバー代金を予算案に計上。R4年度に全国大学版画展歴代受賞作品のデジタルアーカイブ化は終了する予定である。

**5.その他**

**5-1【報告】大学版画展出品校負担金について**（事務局）

出品辞退及び出品数減少の大学に対しては、実際の出品数を元にした出品校の負担金額とする。

なお、出品校負担金振込済みの大学が出品を辞退された。振込済みの出品校負担金を寄付するとの申し出をいただいたので、しかるべく会計処理をすることとした。

**5-2【審議事項】名誉会員選考方法について**

**・**名誉会員条件、名誉会員称号授与の流れを承認。

＜名誉会員条件＞①本会会員としての在籍累計期間が、20年以上の者②本会運営委員としての在籍累計期間が、10年以上の者③本会会長としての功績があった者④本会編集委員長・事務局長・専門部会の貢献度・その他の企画運営など、本学会及び版画界に特別な功労があった者／上記のいずれかに該当し、65歳以上の者

＜名誉会員称号授与の流れ＞

会員は、運営委員会に対して名誉会員条件に該当する者を、学会員 3名以上の推薦に基づき、事務局に所定の書類を提出することで提案することができる。

1. 事務局へ推薦書を提出②運営委員会による審議③夏季総会または定期総会で審議④名誉会員称号授与

（事務局）今回は名誉会員条件と流れのみで審議を行い、 名誉会員詳細は再度検討を行う予定。

(会長)学会会則との照合が必要なため、細則と会則とのかかわりについて来年度再度審議していく。

**5-3 【報告】優秀賞の投票について**（事務局）

・優秀賞の投票方法を確認。

●出された意見

(会長)今年度は集計を上田市美術館に行なっていただいた。

(事務局長)集計・確定後、事務局から受賞者へ連絡する。

**補足事項**

定期総会に出席できなかった会員の皆様への対応及び報告。

〇対応

令和4年度学会誌計画について、承認の可否を正確に把握するために、出席できなかった会員の皆様に承認の可否およびご意見をお伺いいたしました。また、その他の審議事項に対しても、承認事項ではありますが、ご意見を伺いました。

〇報告

令和4年度学会誌計画については回答くださった会員の皆様に承認を頂きました。

また、ご意見を頂きましたので以下にご意見と事務局からの回答を記載致します。

●頂いたご意見：次年度も上田市での開催に賛成です。ただ、審査に行けなかった会員が非常に多かったと感じました。今年度の審査投票者数の発表とオンライン審査の検討が必要と思われます。ご検討いただければ幸いです。

〇事務局回答：有効投票数は、会員58名による1160票です。学会誌の事務局報告にこの結果を記載致しました。オンライン審査については様々な状況を見極めながら検討をおこないます。

なお、今年度も無効投票が若干発生しております。投票用紙の改善を検討したく思います。

**●**頂いたご意見：< 3-1 >【審議事項】第47回全国大学版画展　について

例年の日程においても、後期授業開始から作品のブラシュアップまで、ややタイトに感じておりました。会期が2週間早まるとのことで、学生と研究室の負担が大きくなるのではと不安を感じております。会場の都合なので異論ではありませんが、議事録に残しておきたいと思いコメントさせてもらいます。

〇事務局：補足事項での記載となりましたこと、大変恐縮です。

以上